

貧困・人口・食料

1 / 1

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

世界の貧困や食料の問題は、なぜ起こり、どう解決できるのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 貧困と経済格差

南北問題

なんぼくもんだい
南北問題

先進国と発展途上国の経済格差の問題。

なんなんもんだい
南南問題

発展途上国の間で広がる経済格差の問題。

けいざい
モノカルチャー経済

特定の農産物や資源の輸出にたよる経済。

世界には、豊かな先進国と、まだ経済が発展しきれていない**発展途上国**がある。先進国は主に北の地域に、途上国は南の地域に多いことから、この経済格差の問題を**南北問題**という。途上国には、コーヒーや鉱産資源など特定の産物の輸出にたよる**モノカルチャー経済**の国が多く、価格が変わると収入が不安定になりやすい。また、教育や医療を十分に受けられない子どもも多い。

近年は、工業化が進んで急速に成長する新興国や、石油などの資源をもつ国がある一方、成長からとり残された国もあり、途上国の間でも格差が広がっている。これを**南南問題**という。こうした国々を支えるため、公正な価格で取り引きする**フェアトレード**や、貧しい人に少額のお金を貸す**マイクロクレジット**などの取り組みが広がっている。

問題	内容
南北問題	先進国と発展途上国の格差
南南問題	発展途上国どうしの格差

2 人口と食料問題

人口・食料

じんこうばくはつ
人口爆発

途上国で人口が急激にふえること。

きが
飢餓

食べ物が足りず、飢えに苦しむこと。

しょくひん
食品ロス

まだ食べられるのに捨てられる食品。

世界の人口は80億人をこえ、アフリカやアジアの途上国を中心に急激にふえる**人口爆発**がみられる。人口がふえると、食料や水、住まいが不足しやすくなる。その結果、十分な食べ物が得られず**飢餓**に苦しむ人が、今も世界に多くいる。

一方、先進国では食べ残しや売れ残りなどによる**食品ロス**が問題になっている。日本は食料の多くを輸入にたよっており、カロリーで見た食料自給率は約4割と低い。世界の食料問題を解決するには、途上国への農業支援とともに、先進国が食品ロスを減らす努力も欠かせない。私たち一人ひとりも、食べ物を大切にしたい。

問いへの答え

先進国と発展途上国の経済格差を南北問題、途上国の間の格差を南南問題という。途上国にはモノカルチャー経済の国が多く、フェアトレードなどの支援が広がる。また、途上国では人口爆発から飢餓が起こる一方、先進国は食品ロスをかかえており、支援と食品ロスの削減が求められている。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

